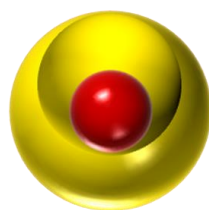


2023 年度  
特定行為研修  
募集要項

2022 年 12 月 6 日改訂版



公益社団法人 日本看護協会  
看護研修学校

2023 年度

公益社団法人日本看護協会看護研修学校  
特定行為研修 募集要項

日本看護協会は、2015年8月に厚生労働省に特定行為研修指定研修機関としての指定を受け、10月に本制度が施行されると同時に全分野の認定看護師を対象とした特定行為研修を看護研修学校にて開始し、2017年度からは神戸研修センターも研修を開始しました。2020年度からは在宅領域で働く質の高い看護師の確保および在宅領域における実践モデルとなる看護師の育成を目的に、在宅や介護領域の看護師を対象とした領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」を看護研修学校で開始しました。2022年6月末現在本会の特定行為研修修了者は908名に達しています。

なお、日本看護協会看護研修学校における特定行為研修は、専修学校の附帯教育として実施しています。

## I. 研修内容

### 1. 研修受講要件

以下のいずれかの要件を満たすこと

- ・ 本会の認定看護師制度における認定看護師の資格を持つ者
- ・ 概ね臨床経験5年以上の看護師で在宅や介護施設等の領域における活動実績があること。または、今後、在宅や介護施設等の領域において活動を予定する看護師

### 2. 定員

定員 200名（科目履修含む）

### 3. 実施日程（予定）

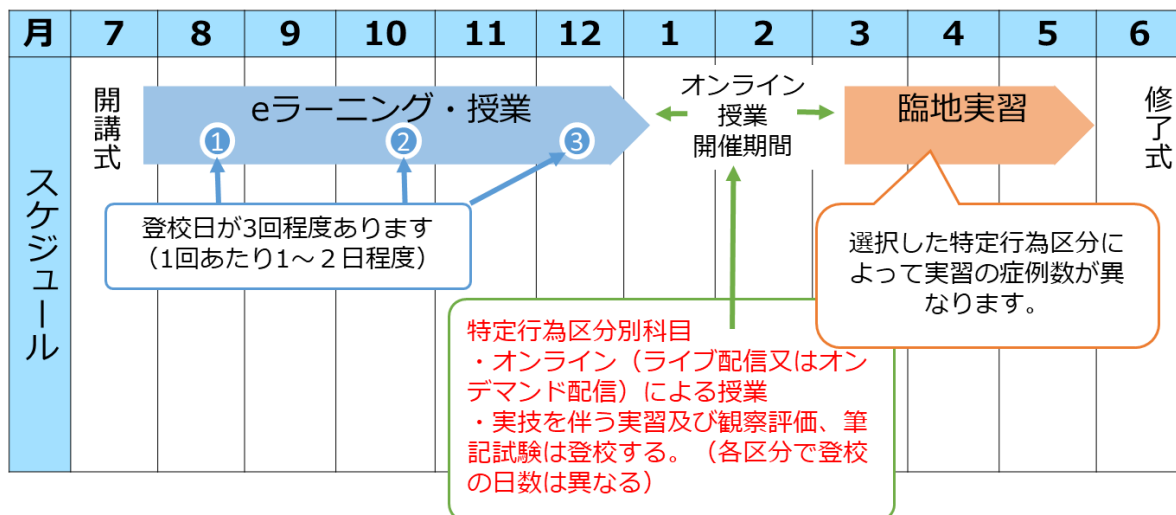
2023年	7月12日（水）	開講式
	7月13日（木）～翌年1月	eラーニング授業 <sup>※1</sup>
2024年	1月～3月	オンライン授業 <sup>※2</sup> （ライブ配信又はオンデマンド配信による授業）
	3月～5月	臨地実習 <sup>※3</sup>
	6月末	修了式

※1 eラーニング授業の期間中に、筆記試験のために登校日を3回（各1～2日程度）予定しています。

※2 実技を伴う実習及び観察評価、筆記試験は登校による集合教育となります。

※3 臨地実習は、すべての講義、演習、学内実習の合格後となるため、各自が選択した区分別科目によって開始時期は異なります。実習期間内に必要な症例数を経験する必要があります。

<受講イメージ>



4. 研修場所

看護研修学校及び実習施設等の連携協力施設において実施します。

臨地実習について、本会は研修終了後も特定行為の実践が有効に行われるために、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤が重要だと考え、受講にあたっては、自施設もしくは関連施設や近隣地域で実習施設を確保していただくことを原則としております。自施設や地域の病院等で実習ができない場合は、本校の指定する協力施設で実習を行います。受入れ可能数には限りがあります。

実習施設には、本会の連携協力施設として、連携協力体制（指導者、医療安全管理、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数の確保等の要件を満たす体制）に関する書類を作成していただき、それを本会より関東信越厚生局に提出します。

開講式前（2023年6月上旬）に本会に書類を提出していただくので、実習の受け入れの調整は提出に間に合うよう早めに進めてください。

5. 研修内容

《凡例》 ○必須 △選択

基本コース(全員受講)				選択コース(任意)		
科目名	区分別科目名	特定行為		選択番号	対象	区分別科目名
		脱水症状に対する輸液による補正	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調節			
共通科目 (259時間)	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (18時間)	○	○	①	認定看護師	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 (9時間)
				②		呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 (29時間)
				③		呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 (8時間)
				④		栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 (8時間)
				⑤		創傷管理関連 (34時間)
				⑥		動脈血液ガス分析関連 (13時間)
				⑦		感染に係る薬剤投与関連 (29時間)
				⑧		血糖コントロールに係る薬剤投与関連 (16時間)
				⑨		循環動態に係る薬剤投与関連 (28時間)
				⑩		精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 (26時間)
				⑪		領域別パッケージ研修「救急領域」(65時間)
				⑫-a	領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」(50時間)	
共通科目 (259時間)	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (18時間)	○	○	⑫-b1	在宅領域に従事する看護師	領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」(50時間) 『持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整』を選択あり
			△※ (5時間)	⑫-b2		領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」(50時間) 『持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整』を選択なし

※ 基本コースは教育訓練給付金（特定一般）の対象ですが、⑫-b2 を選択した場合は対象外となるため、注意が必要です。

## 1) 基本コース

基本コースはすべての受講生が受講する共通科目と必須の区分別科目で構成されています。

※ 基本コースは教育訓練給付金（特定一般）の研修指定講座です。基本コースと選択コースを受講された場合は、基本コース部分のみ対象となります。ただし、領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」では『持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整』を受講することが条件となります。

### (1) 共通科目

共通科目 259 時間のうち 235 時間は e ラーニングで実施します。それ以外の一部の演習は、オンラインによるライブ配信で受講し、筆記試験や実技を伴う実習などは集合研修となります。

科目名	時間数	教育方法	学習形態
臨床病態生理学	30	講義・演習	e ラーニング
臨床推論	46	講義・演習	e ラーニング
		実習	集合研修
フィジカルアセスメント	46	講義・演習	e ラーニング
		実習	集合研修
臨床薬理学	47	講義・演習	e ラーニング
疾病・臨床病態概論	42	講義・演習	e ラーニング
医療安全学 特定行為実践	48	講義・演習	e ラーニング
		実習	集合研修
計	259		

### (2) 必須の区分別科目

科目名	時間数	教育方法	学習形態
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	18	講義・演習	e ラーニング
		10 症例（1 行為 5 症例の実習）	

※ ⑫-b2 の場合、「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」が無いため時間数は 11 時間、実習は 5 症例となります。

## 2) 選択コース

基本コースの受講に加え、受講したい区分を選択できます。各区分の講義はオンラインによるライブ配信又はオンデマンド配信で受講しますが、筆記試験や実技を伴う実習などは集合研修となります。

### 科目選択にあたっての留意事項

1. 区分別科目①～⑩の内、受講希望の科目を選択
2. 領域別パッケージ研修⑪⑫はいずれか一つを選択し、区分別科目は選択不可
3. 選択した科目数によっては履修期間 1 年で臨地実習を終えられない可能性があるため必要なものと考え選択すること
4. ⑫は、⑫-a と⑫-b1、⑫-b2 のいずれかを選択

【選択可能な区分別科目】

選択番号	対象	区分別科目名、領域別パッケージ研修	定員
①	※1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	10名
②		呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	10名
③		呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	10名
④		栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	10名
⑤		創傷管理関連	30名
⑥		動脈血液ガス分析関連	10名
⑦		感染に係る薬剤投与関連	20名
⑧		血糖コントロールに係る薬剤投与関連	20名
⑨		循環動態に係る薬剤投与関連	20名
⑩		精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	20名
⑪	※1	領域別パッケージ研修「救急領域」	20名
⑫-a		領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」	20名
⑫-b1、⑫-b2	※2	領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」	

※1 認定看護師      ※2 在宅領域に従事する看護師

※領域別パッケージ研修「救急領域」には以下の特定行為が含まれます。

- 「経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整」
- 「侵襲的陽圧換気の設定の変更」
- 「非侵襲的陽圧換気の設定の変更」
- 「人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整」
- 「人工呼吸器からの離脱」
- 「直接動脈穿刺法による採血」
- 「橈骨動脈ラインの確保」
- 「脱水症状に対する輸液による補正」
- 「抗けいれん剤の臨時的投与」

※領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」には以下の特定行為が含まれます。

- 「脱水症状に対する輸液による補正」
- 「気管カニューレの交換」
- 「胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換」
- 「褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去」

### 3) 科目履修

科目履修とは既に特定行為研修を修了した方が新たに別の区分別科目及び領域別パッケージ研修を履修することです。

#### <対象者>

以下の2つの条件を満たすもの

- ① 特定行為研修を修了した認定看護師である。
- ② 自施設または地域の病院等で実習施設を確保できる。

#### <科目>

選択コースの区分別科目（但し⑫-b1、⑫-b2は除く）

科目履修については、『2023年度公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校 科目履修について』をご参照の上、申請ください。

なお、科目履修は教育訓練給付金（特定一般）の対象ではありませんのでご注意ください。

#### ※注意

科目履修を申請しても必ず受講できるとは限りません。当該科目が定員を超えている場合等、受講できないことがあります。

## II. 受講申請手続き

### 1. 受講申請方法

申請書類一式を本校指定の郵送方法\*で期限必着にて提出してください。

※レターパックプラス（赤色）のみ

「品名」欄に『特定行為研修受講申請書類（4ページの選択番号）』を書いてください

（例） 『特定行為研修受講申請書類（⑫-a）』

<提出先>

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 総務管理部教務課

<受付期間> 2023年1月4日（水）～1月17日（火）消印有効

### 2. 受講申請書類

・日本看護協会ホームページより、申請書類をダウンロードして下さい。

<https://www.nurse.or.jp/nursing/education/tokuteikenshu/jna/index.html>

《凡例》 ○必須 △任意

様式番号	種別	選択番号	
		①～⑫-a	⑫-b1、⑫-b2
様式1	受講申請書	○	○
様式2	履歴書	○	○
様式3-1	推薦書 (病院長や所長などの施設管理者)	○	○
様式3-2	推薦書 (県協会もしくは関連団体の長など)	—	△
様式4	受講動機	—	○ ※1
様式5-1	実習施設情報	○	△
様式5-2	実習施設情報	—	○
—	認定看護師認定証の写し (有効期限内のもの)	○	—
—	看護師免許証の写し ※A4判に縮小の両面コピー（表裏）	—	○

※1 在宅領域において質の高い看護師の確保および実践モデルとなる看護師の育成を目的としているため、⑫-b1、⑫-b2の受講者は受講動機を提出してください。

### Ⅲ. 受講決定について

#### 1. 受講決定方法

- ・受付期間内に提出された、不備のない受講申請書類を受付けます。
- ・書類選考にて決定します。

#### 2. 受講決定通知

- ・受講が決定した方には、2023年3月上旬（予定）に「受講決定通知」を送付します。

#### 3. その他

- 1) 受講決定後に辞退する場合は、速やかにご連絡ください。
- 2) 自施設もしくは関連施設や近隣地域で実習施設が確保できるという申請書類を提出して受講決定した場合、受講決定後に本会が指定する協力施設で実習を希望されても、原則認められません。



## IV. 受講料の納付

### 1. 受講料

受講料は次のとおりです。基本コース以外に区分別科目を選択する場合は科目によって金額は異なります。なお、本研修は専修学校の附帯教育のため受講料は非課税です。受講料は基本コースの合計価格＋選択コースの価格を併せた金額になります。(科目履修については『2023 年度公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校 科目履修について』を参照してください。)

基本コース		一般価格 (円)	会員価格 (円)
共通科目		636,000	402,000
必須の 区分別科目	科目：栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		
	特定行為：脱水症状に対する輸液による補正	47,000	30,000
	特定行為：持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	32,000	20,000
<b>合計</b>		<b>715,000</b>	<b>452,000</b>
選択コース		一般価格 (円)	会員価格 (円)
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	41,000	26,000
②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	150,000	94,000
③	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	39,000	25,000
④	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	39,000	25,000
⑤	創傷管理関連	112,000	70,000
⑥	動脈血液ガス分析関連	72,000	45,000
⑦	感染に係る薬剤投与関連	91,200	57,000
⑧	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	93,000	58,000
⑨	循環動態に係る薬剤投与関連	167,000	105,000
⑩	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	129,000	81,000
⑪	領域別パッケージ研修「救急領域」	318,000	199,000
⑫-a ※	領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」	184,000	117,000
⑫-b1 ※	領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」 「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」あり	184,000	117,000
領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」 基本コース内「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」を含まない			
⑫-b2	共通科目	636,000	402,000
	領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」 「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」なし	231,000	147,000

会員価格は申請時（2022年度）に日本看護協会会員かつ2023年度継続手続き完了の方に適用されます。

料金表⑪、⑫-a、⑫-b1 では、基本コースの区分別科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の特定行為区分「脱水症状に対する輸液による補正」が重複するため、それぞれ、当該特定行為を除いた価格を記載しています。

- 例 1) 基本コースと呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連を受講する場合（会員価格）  
基本コース（452,000 円）＋呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連（94,000 円）＝ 546,000 円
- 例 2) 領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」  
⑫-b2「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」なしを受講する場合（会員価格）  
共通科目（402,000 円）＋領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」  
「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」なし（147,000 円）＝ 549,000 円

## 2. 注意事項

- 1) 納付金は全納のみとします。
- 2) 二重振込や開講前の 6 月末日までに辞退の連絡があった場合を除き、納付金は返金できません。
- 3) その他の詳細は受講決定通知時にお知らせします。
- 4) 通学、実習のための宿泊・交通費、パソコン等の機器・通信費、書籍等の教材費その他学修に必要な費用は自己負担となります。
- 5) 受講料の納付時期は 2023 年 4 月中旬を予定しています。詳細は受講決定通知の同封文書でお知らせします。

## V. 研修費用の補助制度

本校の特定行為研修受講決定者は以下の制度が利用できます。手続き等の詳細は各ホームページを参照してください。

◇公益社団法人日本看護協会 認定看護師教育課程奨学金（貸与型／無利子）

＜対象者＞ 認定看護師資格を有する方

<https://www.nurse.or.jp/nursing/education/scholarship/nintei/index.html>

◇教育訓練給付制度（特定一般）

＜対象者＞ 制度の条件を満たす方

※すべての受講生が受講する「基本コース」が講座指定を受けています

本校の研修実績についてはホームページ掲載の明示書をご確認ください

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または、被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する特定一般教育訓練を受講・修了した場合、ご自身で教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合額（上限あり）を、ハローワーク（公共職業安定所）から支給します。

※研修費用を施設が全額負担している場合は対象になりません

◇人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）

事業主等に対して訓練経費や訓練中の賃金の一部を助成する制度です。

※申請の際は最寄りの労働局にご相談ください。

## VI. 個人情報の利用目的

本校では「公益社団法人日本看護協会個人情報保護規則及び細則」に基づき、個人情報の取得・利用を適正に行います。

〈参照先〉「公益社団法人日本看護協会 個人情報保護方針」

<https://www.nurse.or.jp/privacy/index.html>

受講申請書類により取得した個人情報は以下の業務に利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

- ・受講申請、通知等に関する業務、受講手続きに関する業務及び付随する業務
- ・受講に伴う事務（成績管理、就学管理）、研修生支援事務（奨学金申請等）、受講料の収納事務及び付随する業務

## アクセス

### ◎所在地

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校（〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3）  
駐車場なし、公共交通機関を利用のこと

### ◎交通機関

- 1) 西武池袋線利用の場合  
清瀬駅下車、南口より
  - ・徒歩12分
  - ・西武バス2番乗り場から乗車（全てのバス利用可）、「複十字病院」下車徒歩1分
  - ・タクシー5分
- 2) JR武蔵野線利用の場合  
新秋津駅下車、タクシー10分



### 研修に関する問い合わせ

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 総務管理部教務課  
〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3  
TEL : 042-492-7464 FAX : 042-492-7213  
E-mail : ky-kyomu@nurse.or.jp